

令和7年度 桑名市こどもの権利条例に基づく各課の取組

【① 条例に基づく主要な取組】

課(室)名	事業・施策・取組名	【令和7年度】こどもに関する具体的な取組内容	【令和7年度】取組の実績・効果	【令和8年度以降】こどもに関する具体的な取組予定	対応するこどもの権利条例の項目
子ども未来課	こどもの権利の日周知	・こどもの権利の日に関する懸垂幕を作成し、11月に懸垂幕を掲げる ・広報、SNSなどで周知	・懸垂幕 11月10日～27日掲示 ・SNS発信件数…LINE・Instagram・X 各2回発信 ・広報・全庁掲示板 各1回	・毎年11月に懸垂幕を掲げ、広報、SNSなどで周知 ・こどもの権利の日に合わせて市民向けイベント開催予定	周知・啓発活動
	桑名市こどもの権利条例周知	・小学生と中学生向けに、桑名市こどもの権利条例の周知のためのパンフレットやポスター、デジタルブックを作成し、配布	・市内小中高の各学校へパンフレット・ポスターを配布 ・デジタルブックを作成し、教育指導課と連携して市内公立小中学生のタブレット端末に配信 ・市内県立校・私立校へはデジタルブックに関する周知 ・パンフレット・ポスター・デジタルブックは市ホームページから閲覧・ダウンロードが可能	・桑名市こどもの権利条例に関し、引き続き周知啓発を行う ・デジタルブックは小中学生のタブレット端末に配信 ・市ホームページ掲載 等	周知・啓発活動
	職員向け桑名市こどもの権利条例に関する研修	・市職員向けに、桑名市こどもの権利条例に関する研修を実施	・係長級、主査級職員に向けて実施 ・受講者 80名 ・市職員として本条例の内容把握や意識醸成等を図る目的で実施	職員の機運醸成を図るため、職員に向けても定期的に周知啓発を行う	周知・啓発活動
子ども総合センター	児童虐待防止推進月間	11月に児童虐待防止のための広報・啓発活動など様々な取り組みを実施。	・懸垂幕「児童虐待のないまちへ」の掲出 ・子どもや地域の方に書いてもらった児童虐待防止へのメッセージカードを庁舎に掲示 ・オレンジリボン運動の実施	11月に児童虐待防止のための広報・啓発活動など様々な取り組みを実施。	周知・啓発活動
	児童虐待防止フォーラムの実施	児童虐待防止のための啓発イベントを令和8年1月に実施予定。	現時点での実績・効果未定	児童虐待防止のための啓発イベントを実施。	周知・啓発活動
	子どもの権利を守るCAP研修事業	子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から、自分のところからだを守る暴力防止のための予防教育を行う。	・12月に1件実施	子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から、自分のところからだを守る暴力防止のための予防教育を行う。	教育・育ちの支援
幼保支援課	子どもの人権を考える講演会を開催	・年に1回、保護者・子育て支援関係者に向けて、子どもの人権を考える講演会を開催している。 ・講演会開催にあたっては、市内全保育施設・幼稚園の保護者にチラシ配布等の周知を行った。	・子どもの人権を考える講演会を9月27日に開催し、59名の参加者(子育て中の保護者をはじめ、保育所に従事する保育士等)が聴講した。	・引き続き、子どもの人権を考える講演会を開催し、子どもの人権が守られるために、大人は何をすべきか、何を大切にいくか等の学びを深めていく。	市民・保護者・施設の役割・協働
	人権保育実践の推進	・公立保育所において、4・5歳児を中心に人権をテーマにした年間計画を立て、絵本や体験を通してお互いの違いを認め合える関係や仲間づくりの実践を進めている。	・公立保育所6園で実施 ・4歳児128名、5歳児130名(R7.12.1現在)	・引き続き、4・5歳児を中心に、人権保育の実践を進めていく。	市民・保護者・施設の役割・協働
	職員向けこどもの人権研修	・市内全保育施設・幼稚園の職員向けに、こどもの人権に関する研修会を行った。	・実施日:令和8年1月8日 ・参加人数57名(公立保育所24名、私立保育園・認定こども園17名、公立・私立幼稚園12名、市職員4名) ・各園に研修動画を配信し、未受講者にも視聴してもらう予定	引き続き実施予定	・安全・安心の確保
人権センター	こどもの権利の日周知	こどもの権利の日の周知	・11月8日防災フェアで中学生が作成したポスター3枚を掲示 ・12月4日の人権週間街頭啓発で啓発物品にこどもの権利条例を啓発するシールを添付して配布 ・12月6日の人権フェスタで、中学生が作成したポスター3枚と桑名市こどもの権利条例のポスターを掲示 ・啓発ティッシュを作成し、人権センター及び防災フェアで配布 ・夏休みに実施したクイズラリーの問題に条例の内容を入れた。 ・人権フェスタで実施したクイズラリーの問題に条例の内容を入れた。	引き続き周知予定	周知・啓発活動
教育指導課	こどもの権利条例周知	・児童生徒向けに、こどもの権利に関するデジタルブックを1人1台端末へ配信 ・保護者向けに、こどもの権利に関して自治体発報で周知	・児童生徒の1人1台端末のホーム画面にデジタルブックを随時閲覧可能なように配信 ・上記を授業で活用した学校 17校 ・保護者向けに、totoruでの配信、教育委員会HPへの掲載	令和7年度取組を継続 11月は、totoruを使用した配信	周知・啓発活動
人権教育課	「こどもの権利の日」に係る取組について依頼	・子どもたちが自分の権利について考え、一人ひとりがその大切さを再確認するための一日にするため、子どもの発達段階に応じた取組を進めるように各校へ依頼を行った。	・こどもの権利に関して授業を行った学校 32校 <教材の例として案内> ・子ども向けのパンフレット・ポスター(子ども未来課発行) ・デジタルブック(学習者用タブレット内) ・三重県教育委員会発行人権学習指導資料(小学校高学年)「みんなのひろば」(P.77～)子どもの人権に係わる問題を解決するための教育 ・三重県教育委員会発行人権学習指導資料(中学校)「みらいをひらく」(P.51～)子どもの人権に係わる問題を解決するための教育 <取組の例として案内> ・全校集会、学年集会、学級会などを通して子どもの権利について知る取組 ・生徒会・児童会など自治活動の中で、安心して過ごせる学校にするために必要なことを考える取組 ・人権学習を通して、他者と共によりよく生きるためにできることを考える取り組み ・保護者・地域への啓発や取組の発信	令和8年度も、こどもの権利に関して取組を進めるよう各校へ周知を行う。	教育・育ちの支援
	令和7年度桑名市小中学生の人権に関する意識調査	・意識調査の項目に、①「全ての子どもたちは、一人ひとりかけがえのない存在で、誰もが生まれながらにして幸せに生きる権利をもっています。令和6年12月に「桑名市こどもの権利条例」が制定され、令和7年4月に条例が施行(スタート)しました。「桑名市こどもの権利条例」があることを知っていましたか。」②「桑名市こどもの権利条例」は、特に10のこどもの権利を大切にしています。守られているとあなた自身が感じる権利について、あてはまる記号をすべて選んでください。ア、差別されない権利イ、子どもにもっともよいことが考慮される権利ウ、幸せに育ち・生きる権利エ、意見を表明し、尊重される権利オ、プライバシーが守られる権利カ、あらゆる暴力から守られる権利キ、医療を受ける権利ク、衣食住が確保される権利ケ、教育を受ける権利コ、休み、遊ぶ権利」を買問項目に追加した。	・12月 意識調査依頼 ・1月 回収 ・3月 調査結果まとめ作成	令和8年度も、小学6年生・中学3年生の児童生徒に意識調査を実施予定。	周知・啓発活動

令和7年度 桑名市こどもの権利条例に基づく各課の取組

【② 条例に関連した取組】

課(室)名	事業・施策・取組名	【令和7年度】こどもに関する具体的な取組内容	【令和7年度】取組の実績・効果	【令和8年度以降】こどもに関する具体的な取組予定	対応するこどもの権利条例の項目
子ども総合センター	子どもの居場所づくり事業(対面型)	子どもにとって、安心・安全な居場所を提供し、その居場所において、食事の提供、遊び場の提供、学習支援及び課外活動等により子どもを支援する。	現時点での実績・効果未定	子どもにとって、安心・安全な居場所を提供し、その居場所において、食事の提供、遊び場の提供、学習支援及び課外活動等により子どもを支援する。	安全・安心の確保
	子どもの居場所づくり事業(メタバース型)	不登校等の子どもに対し、ゲーム等メタバース空間において、子どもが他者と交流する機会となる子どもの居場所をつくり、社会参加を支援する。	4月～9月は1人、10月～現時点は2人の利用がある。	不登校等の子どもに対し、ゲーム等メタバース空間において、子どもが他者と交流する機会となる子どもの居場所をつくり、社会参加を支援する。	安全・安心の確保
	子どもの安全見守り支援事業	NPO法人等が実施する宅食やフードパントリー時に、子どもが安全に生活できているか見守り確認を行う。	令和7年度は、現時点で12件の家庭に対して実施している。	NPO法人等が実施する宅食やフードパントリー時に、子どもが安全に生活できているか見守り確認を行う。	安全・安心の確保
教育指導課	生徒会交流会	学校の特色や市の魅力や課題について話し合う場を持つ	年2回、市内中学校生徒会担当と学校の特色や市の魅力や課題について話し合いを実施	令和7年度の意見を経て、市役所担当課と各校生徒会担当が話し合いを行う	意見表明・参加の保障
新たな学校づくり課	小中学校再編計画に関する子ども向け説明動画の作成	・学校再編計画に関する子ども向け説明動画を作成し、HPで公開 ・上記動画を見た子どもたちが意見・感想を表明できるフォームをHPに掲載 ・各小中学校から児童・生徒へ動画や意見表明フォームの周知、また保護者用連絡ツールを通じて保護者へ周知(10月)	・意見約400通、動画約1,400回視聴(12月1日現在)	引き続き、計画及び学校再編について、意見を表明できる場の設置	意見表明・参加の保障
学校教育課	学区外、区域外就学	・様々な理由により指定校区以外への就学を希望する方が、安心して学ぶことができるよう対応 ・HPでの周知	・学区外就学を希望する方の相談対応 ・許可件数59件(R7.12.5時点) ・HPでの周知	・学区外就学を希望する方の相談対応 ・HPでの周知	教育・育ちの支援
	桑名市高等学校等進学奨励金	・桑名市ホームページ、広報くわなへの掲載及び令和7年度版しおりを作成し、申請方法や申請期間等を周知 ・複数枚の申請書1つまとめ、申請者の負担を軽減した ・昨年度の受給者に対して、今年度の申請のお知らせを郵送 ・桑名市高等学校等進学奨励金選考委員会を7月に開催し、受給決を審査の上決定 ・受給決定者には3期(8月末、12月末、翌年3月末)に分けて奨励金の支払いを行う ・家計急変等による追加申請があれば適宜選考委員会を開催 ・中学3年生に向けて毎年2月頃までに紙にて配布していた本事業のお知らせをtetorulにより電子化	・桑名市ホームページ、広報くわな6月号に情報を掲載及び令和7年度版しおりを作成し、周知(LoGoフォームによるオンライン申請ができる旨も掲載し、QRコード等のリンクも添付した) ・桑名市高等学校等進学奨励金選考委員会を7月16日に開催 ・申請件数:62件(12月1日現在) ・申込期間内における申請件数:60件(オンラインによる申請が47件) ・家計急変による追加申請:2件 ・奨励金受給決定者は、62人(12月1日現在) ・奨励金は、現在2期分まで支給(3期分は、翌年3月末に支給予定) ・中学3年生に向けた本事業のお知らせを準備し、1月の末頃にtetorulにて送信予定	・毎年桑名市ホームページ及び広報くわな6月号に情報を掲載し、本事業のしおりを作成し、周知を行う ・今年度の受給決定者向けに来年度の申請のお知らせを郵送 ・桑名市高等学校等進学奨励金選考を7月を目的に開催し、申請者を審査の上、奨励金受給者を決定 ・家計急変等による追加申請があれば、随時選考委員会を開催 ・受給決定者には3期(8月末、12月末、翌年3月末)に分けて奨励金の支払いを行う ・中学3年生向けに本事業のお知らせをtetorulにて送信	教育・育ちの支援
人権政策課	桑名市人権施策基本計画の見直し	取組なし	取組なし	こどもの権利条例制定をふまえた子どもの人権施策の提示を予定	周知・啓発活動
保健医療課	くわな健康・医療相談ダイヤル	24時間電話相談サービス(健康・医療・育児など)	・【期間】R7.6～10月 ・育児、しつけに関する相談、(92件/2,134件 約4.3%) ・相談対象年齢(0～19歳)、(523件/2,134件 約24.5%)	24時間電話相談サービス(健康・医療・育児など)	・安全・安心の確保 ・相談・支援体制
	「予防救急のススメ」イベント開催	R7.10.19にカインズ桑名店にて予防救急の啓発イベントを実施した。こどもの予防救急のリーフレットを作成し、当日は保護者向けに配布・説明を行った。	・予防救急のアンケート回答者:のべ301名 ・こどものヒヤリ・ハット場面の聞き取り:92名	次年度も今年度と同様のイベント開催予定	・安全・安心の確保 ・周知・啓発活動
SDGs推進課	若者施策推進ワークショップ事業	連携する愛知大学生の声を聴くワークショップを開催し、意見聴取を行う。そして、変化する時代に対応するよう政策形成につながる提案をして頂く。	・4月 キックオフミーティング ・5月 ワークショップ実施 ・6～7月 担当課と連携して地域課題の解決に向けた政策検討 ・8月 市長への政策提案発表	若者に寄り添った施策の実現を目指して、大学との連携により、学生からの意見や提案を市の施策へ反映していく。	まちづくり・生活環境整備
	子どもの夢・未来創造事業	本市に暮らすすべてのこどもたちが将来への夢をさらに広げられるよう、市役所が行う小・中学生への体験や外部の講師による体験授業を実施し、こどもが通う場での体験機会の拡充に取り組む。	・こどもの権利に関して授業を行った学校 32校 ・教材の例として案内 ・こども向けのパンフレット・ポスター(子ども未来課発行) ・デジタルブック(学習者用タブレット内) ・二重県教育委員会発行「体験型指導資料(小・中)」	体験メニューの拡充をはかり、体験授業を通じて、こどもたちが多様な職業観や人生観に触れ、自らの将来について主体的に考える機会を創出していく。	まちづくり・生活環境整備
ブランド推進課	桑名市海外留学支援奨励金の交付	審査のうえ、中高生は一律10万円の奨励金を交付	令和7年度交付決定者数 65名のうち中高生コース44名	企画調整中	教育・育ちの支援
	桑名市海外留学支援奨励金交付対象者による発表会の開催	留学終了後、交付金対象者から希望者等を募り、その成果をスライドショー等にまとめて発表会を開催	R7.11.30 英語コンテスト内による成果発表(高校生1名参加) R7.12.25 桑名市役所での発表会(中学生3名、高校生1名参加)	企画調整中	教育・育ちの支援
	桑名市台湾学校交流プロジェクト	本市内中学校と台湾中学校による英語を用いたオンライン交流及び日本での現地交流を行う。	令和7年9月～12月に5回のオンライン交流を行い、翌年1月に現地交流を開催予定。 オンライン交流・・・参加者約70名 現地交流・・・参加者約40名	企画調整中	教育・育ちの支援
	KUWANA ENGLISH ADVENTURE	小学生を対象に、様々な国から来た外国人講師と一緒に、さまざまな国のアクティビティやゲームを通じて楽しく英語に触れる。 11月16日実施	参加人数・・・40人 LINE・・・4回配信 参加者アンケート実施	企画調整中	・意見表明・参加の保障 ・教育・育ちの支援
地域コミュニティ課	自治会連合会への支援(補助金)	・防犯カメラの設置・管理や青バト防犯パトロール ・地域文化継承を目的としたイベント ・こどもと地域住民の交流を図るお祭りやイベント ・農園体験事業 ・防災訓練	現時点での実績・効果未定 各地区自治会連合会が計画・実施	各地区自治会連合会が計画・実施	・安全・安心の確保 ・教育・育ちの支援 ・まちづくり・生活環境整備
	まちづくり協議会の支援(交付金)	・登下校の見守り、青色防犯パトロール ・こども学習会、地域の産業、歴史学習会、読書会、放課後子ども教室 ・ものづくり体験、こども農園体験、子ども料理教室、子どもの居場所づくり(将棋、千羽鶴体験) ・夏休み体操会、こどもまつり、天体観測会、親子芸術鑑賞会 ・学校・地元高校と交流、学校活動支援 ・ささえあい支援事業(子育て世帯)、子育て世代訪問事業、公園環境整備	現時点での実績・効果未定 各まちづくり協議会が計画・実施	各まちづくり協議会が計画・実施	・安全・安心の確保 ・教育・育ちの支援 ・まちづくり・生活環境整備 ・相談・支援体制/権利擁護 ・市民・保護者・施設の役割・協働
生涯学習課(中央図書館)	桑名市図書館を使った調べる学習コンクール	・第21回として、図書館の資料を使って調べたレポートを提出していただき最優秀賞等を決定、表彰する	・親子の作品を含め100作品の応募があり、全国コンクールに3作品推薦した	・図書館の資料を使って調べたレポートを提出していただき最優秀賞等を決定、表彰する	教育・育ちの支援
	親子向け郷土学習講座	・桑名の子どもたちに 郷土の歴史への理解を深めてもらうことを目的として、親子で「調べる学習」を体験できる講座を開催	・2組の親子が参加した	・桑名の子どもたちに 郷土の歴史への理解を深めてもらうことを目的として、親子で「調べる学習」を体験できる講座を開催 ・SNSでも周知する	教育・育ちの支援
	おはなし会	・ボランティアによる絵本や紙芝居の読み聞かせ	・通年月10回程度 ・参加人数は5～20人(曜日により変動有)	・ボランティアによる絵本や紙芝居の読み聞かせ	教育・育ちの支援
	ゆめはま文庫の貸出	・0歳から3歳までの成長に合わせた絵本のセット(ゆめはま文庫)の貸出 ・離乳食教室やばかばかへの出張貸出も行っている	・通年(出張貸出は月2回程度)	・0歳から3歳までの成長に合わせた絵本のセット(ゆめはま文庫)の貸出 ・離乳食教室やばかばかへの出張貸出も行う	教育・育ちの支援

令和7年度 桑名市こどもの権利条例に基づく各課の取組

【② 条例に関連した取組】

課(室)名	事業・施策・取組名	【令和7年度】こどもに関する具体的な取組内容	【令和7年度】取組の実績・効果	【令和8年度以降】こどもに関する具体的な取組予定	対応するこどもの権利条例の項目
生涯学習課 (パブリックセンター)	桑名市パブリックセンター文化祭 舞台発表会	・令和7年11月15日に開催された第54回桑名市パブリックセンター文化祭舞台発表会にて「桑名市少年少女合唱団」が合唱を披露した	・入場者数 約200名(参加団体関係者含む)	・令和8年11月開催予定の第55回桑名市パブリックセンター文化祭舞台発表会にて発表の場を提供予定	意見表明・参加の保障
生涯学習課 (生涯学習係)	中学生の主張大会	・中学生が自らの意見を作文に書き、発表することを通して自ら考え行動する力を養うとともに、自らの主張を正しく伝え理解してもらう力を身につけることを目的として実施	・応募者 23人 ・入選(発表者) 2人	・中学生が自らの意見を作文に書き、発表することを通して自ら考え行動する力を養うとともに、自らの主張を正しく伝え理解してもらう力を身につけることを目的として実施	教育・育ちの支援
	青少年健全育成に関わる諸団体への支援	・青少年育成団体が行う地域イベント、体験活動その他青少年の健全育成に資する事業に対しその経費の一部を補助	・交付決定 5団体	・青少年育成団体が行う地域イベント、体験活動その他青少年の健全育成に資する事業に対しその経費の一部を補助	市民・保護者・施設の役割・協働
	街頭補導	・青少年の非行・被害防止のため学校や地域の関係者と連携し、青少年が集まりやすい場所や不審者情報のあった場所などでの青少年への声かけを中心とした補導活動	・街頭補導実施回数 307回(11月末現在)	・青少年の非行・被害防止のため学校や地域の関係者と連携し、青少年が集まりやすい場所や不審者情報のあった場所などでの青少年への声かけを中心とした補導活動	安全・安心の確保
	子どもSOS(旗・パネル)の設置	・不審者などの犯罪から子どもを守る一時的な避難場所として「子どもSOS」を設置	・「子どもSOS」設置協力件数 2,141件	・不審者などの犯罪から子どもを守る一時的な避難場所として「子どもSOS」を設置	安全・安心の確保
	青少年相談	・青少年に関する悩み事について電話や面接による相談を実施	・相談件数 0件(11月末現在)	・青少年に関する悩み事について電話や面接による相談を実施	相談・支援体制/権利擁護
	放課後子ども教室を含む地域や学校との協働活動	・多度東小学校・多度青葉小学校で放課後子ども教室を実施	・実施回数見込 69回 ・参加児童数見込 1,330人	・多度校区で放課後子ども教室等を含む地域学校協働活動を支援	市民・保護者・施設の役割・協働
総務課	「こどもの権利条例制定都市」等の啓発	本庁舎南・北玄関に設置している立て看板に、新たに掲示用のマグネットを作成し啓発を実施。	立て看板の更新に合わせ、都市宣言等の掲示用マグネットを6枚作製した。このうち、「こどもの権利条例制定都市」「こどもの笑顔を守るまち くわな ~子どもを虐待から守る宣言都市~」を作製し、啓発期間等に合わせ掲出した。具体的な期間は不明。	令和8年度以降も適宜、立て看板に掲出して啓発を実施する。	周知・啓発活動
	未来の有権者へ、記念証を配布	将来の有権者である子どもたちに、早い段階から選挙への関心を持ってもらい、将来の投票行動につなげてもらうことを目的として、投票所に親子連れなどで来た子どもを対象に記念証を配布した。	7月執行の参院選、9月執行の県知事・県議補選において、配布。 配布枚数は把握できていないが、記念証が不足した投票所が続出し、緊急に作成して各投票所に追加した。	令和8年12月5日任期満了に伴う市議会議員選挙の際にも配布予定。記念証が2種類であったため、今回は種類を増やして多くの配布数を狙う。	意見表明・参加の保障
環境対策課	小学校環境学習(出前授業)	・環境対策課および清掃センターでは、市内小学校を対象に、家庭から出された廃棄物が資源として再び生まれ変わる様子や、正しい分別・リサイクルの大切さを学び、ごみ収集車(パッカー車)を持ち込んで、実際に目で見て触れて知る環境学習を実施 ・サントリーから講師を招き、ペットボトルのリサイクルについての大切さを学ぶ環境学習を実施	・環境学習 実施期間 6月16日(月)~10月17日(金)実施小学校 20校 対象学年4年生(795名) ・サントリー環境学習 実施日 10月23日 実施小学校 2校 対象学年4年生	・環境学習 実施期間 6月中旬~10月下旬頃まで実施予定 ・サントリー環境学習 実施予定	周知・啓発活動
グリーン資産創造課	環境学習	ゼロカーボン、再エネ等について考える機会の創出、脱炭素・環境問題への意識定着化を目的として協力企業を講師に招き、各企業の特色を活かした学習を実施。	・津田学園にて全9回の環境学習モデル事業を実施中 ・その他環境学習 公立5回、私立1回実施(予定含む)	引き続き環境学習を公立・私立小中学校で実施していく予定	周知・啓発活動
危機管理室	秋のこどもまんなか月間(11月)	闇バイト防止を駅前大型ビジョン、SNS等で啓発	闇バイト防止動画(三重県警制作)の発信 ・駅前大型ビジョン放送11月1日~30日 ・11月4日SNS(LINE、X)、HPにて発信	未定	安全・安心の確保
	交通安全教室	市内の幼、保、小、中学校で交通安全教室を実施	・幼、保22施設 ・小学校26校 ・中学校(1年)6校	市内の幼、保、小、中学校で交通安全教室を実施	安全・安心の確保
	パトロール(危機管理室)	下校時間帯における子どもの見守り	平日は毎日実施(一部、生活安全協会や地域の防犯団体と合同で実施)	平日は毎日実施(一部、生活安全協会や地域の防犯団体と合同で実施)	安全・安心の確保
	まもってくれてありがとう運動	4季の交通安全運動期間中に小学校をモデル校に指定	6校	R8で終了予定(小学校一巡)	安全・安心の確保
	交通安全保護者の会補助金交付	各小学校の交通安全保護者の会(PTA)に対し補助金を交付し、交通安全活動の推進と充実を図る。	16,000円*26校	各小学校の交通安全保護者の会(PTA)に対し補助金を交付し、交通安全活動の推進と充実を図る。	安全・安心の確保
福祉総務課	桑名市戦没者追悼式	追悼式当日に市内中学生に戦争被害に対する学校の取り組み及び思いについて「誓いのことば」として話っていた。・式参加人数117名	・戦没者追悼式 8月7日 ・中学生は戦没者遺族の声を実際に聞き、遺族は中学生の思いを聞くことができた。 ・式参加人数117名	・8月6日 桑名市戦没者追悼式	意見表明・参加の保障
都市管理課	市営住宅定期募集(6月、10月、2月)	ひとり親優先枠を設置 6月(1部屋)、10月(1部屋)、2月(1部屋)	ひとり親世帯の子育て・生活支援などにつながった 6月(1部屋入居)、10月(入居なし)	ひとり親優先枠を設置予定 6月(1部屋)、10月(1部屋)、2月(1部屋)	安全・安心の確保
都市計画課	都市計画マスタープラン策定事業	まちづくりにかかるアンケート調査にて依頼対象を15歳以上として実施	アンケート回答期間10月~11月(現在取りまとめ中)	アンケート結果を考慮した計画策定	まちづくり・生活環境整備
議会事務局	社会見学(多度4小)	議場での議会体験及び市議会のしくみ説明等の講義	・5月30日 ・主権者として社会参加し自立する力を育む主権者教育の推進	取組なし(事業は継続)	意見表明・参加の保障
	社会見学(城東小学校)	議場での議会体験及び市議会のしくみ説明等の講義	・7月9日 ・主権者として社会参加し自立する力を育む主権者教育の推進	取組なし(事業は継続)	意見表明・参加の保障
	社会見学(光風中学校)	議場での議会体験	・10月23日 ・主権者として社会参加し自立する力を育む主権者教育の推進	取組なし(事業は継続)	意見表明・参加の保障
	出前事業(光風中学校)	議員が中学校へ出向き、市議会のしくみ説明等の講義や質問時間の設定	・10月23日 ・こどもたちの意見を聞き、市への関心を育むことで、まちづくりに参加促進	取組なし(事業は継続)	意見表明・参加の保障
水道課	市役所 体験メニュー	・上野浄水場を見学しよう!【施設見学】 ・水道施設について【出前授業】	上野浄水場見学 6月10日 城東小学校 11月13日 益世小学校 出前授業 6月26日 大和小学校 10月23日 伊曾島小学校	ホームページで周知	教育・育ちの支援
下水道課	社会見学受入	長島浄化センターにおいて小学4年生の社会見学を実施	・10月3日と11月28日に2校で実施 ・子どもの夢・未来創造事業 体験メニューに掲載	電話連絡や「子どもの夢・未来創造事業 学校体験メニュー」から受け付けし実施	まちづくり・生活環境整備
長島木曾岬分署	子供向けイベントに参加した	・桑名社協が主催する「子育て応援フェスタ」に参加した。 ・桑名青年会議所が主催する「くわなジョブのわ」に参加した。	・はしご車乗車体験や防火服を着て写真撮影など盛況を得た。 ・職業体験として水消火器で消火体験させ、職業選択の一つとさせた。	要請があれば参加予定	教育・育ちの支援